

# J R (国鉄) の安全と利便性をもとめる

## 新潟地区連絡会ニュース 2013年5月2日

連絡先 0250-24-8336

<http://members.ecatv.home.ne.jp/mtani/tikurenhp.html>



### 只見線視察報告

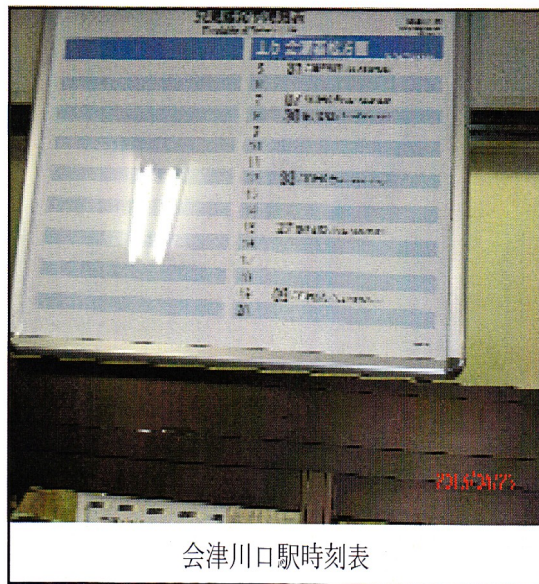
4月27日、渡辺さん、井上さん、大沢さん、山崎さん、谷の5人で只見線を見てきました。

只見線は2011年夏の豪雨のため、只見・会津川口間の鉄橋(3本?)が流され、約28kmの区間が不通になっています。JR東日本は復旧するつもりがなく、この区間の廃線を検討しています。只見町をはじめとする市町村の反対で、「今後被害状況を調査して結論を出す」といっていますが、復旧には50~100億円かかることからJRは復旧には積極的ではありません。

最初に訪れた会津川口駅は、立派な駅舎ですが、駅の右側は郵便局で、左側は農協が入っていますし、中には観光物産展を兼ねた売店もありました。そのことから、JRが建設したものではありません。



会津川口駅に入ってびっくりしたのは右上の時刻表です。なんと「上り」しかなくて、「下り」は真っ白になっていました。「運休」にもしていません。JRは復旧させるつもりがないと思いました。



会津川口駅時刻表

会津川口駅から数キロ走ったところで、川が蛇行している地点で鉄橋が寸断されているのを見えました。



NO. 791  
発行  
13・6月25日  
国鉄労働組合  
新潟地方本部  
発行責任者  
関川 和彦  
編集責任者  
教 宣 部

今回は新潟地区連絡会ニュースを特集します。只見線の実  
熊調査です。2011年の夏の豪雨のため鉄橋が流され、約28キロの区間が不通になっています。

さらに上流でも鉄橋の残骸が見えました。ちょっと見にくのですが、真ん中の木の陰に黄色の鉄橋の残骸が見えます。



只見駅

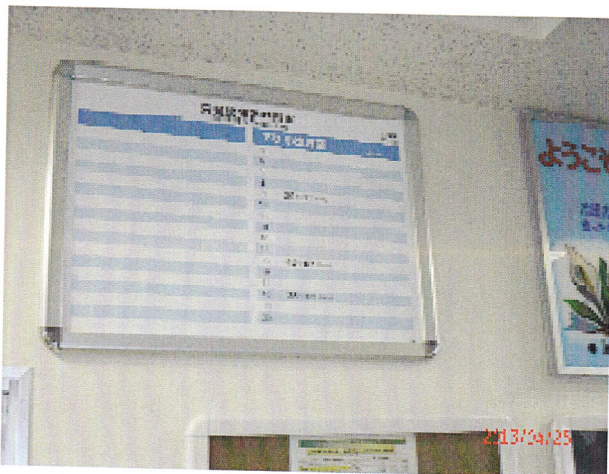


只見駅売店

終点の只見はまだ雪の中でした。福島（只見町）と新潟（大白川・小出）を結ぶ国道 252 号線は雪で閉鎖されていました。開通はゴールデンウィーク後ということです。

只見駅にも観光物産展を兼ねた売店があり、2人の人が対応してくれました。只見駅の時刻表も新潟の小出に向かう「下り」3本の列車しか記載されていず、それも「9時台、15時台、18時台」の3本です。「上り」会津川口方面は白紙でした。

只見町役場の前には、放射線量計が設置されていました。



この区間には只見高校と会津川口高校の2つがあり、鉄道は高校生の足として重要な役割を果たしています。

只見町商工会を訪れて、只見線存続を求める署名簿 84 筆を提出してきました。

今回の視察でいかに只見線が住民にとって大切にされているかがよく分かりました。高校生や老人などの交通弱者にとっては、鉄道は欠かせないものです。経営効率からだけ判断するのは間違いです。町の存続のためにも只見線の復旧を強く望みます。



最後にもう一度会津川口駅を訪れ、「乗ろう 守ろう つなごう みんなの只見線」の写真を撮ってきました。